

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	現代の国語	2単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題や提出物は確実にこなしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 現代の国語」 <副教材> 数研出版「書きたくなるアシスト常用漢字」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり、深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと イ	2	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせよう	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	こそめスープ
	話すこと・ 聞くこと イ	4	情報を整理し、内容や構成に注意して話そう	ワ 定 発	ワ 発	提 発 観	気になるニュースについて話そう
5	読むこと イ	2 1	情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかもう さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと使い分けよう 【1学期中間考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	未来をつくる想像力 メディアとの付き合い方
	読むこと ア	2 1	「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深めよう 評論の書かれ方を理解し、読み方を知ろう 要旨をまとめ、文章の要点を把握しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	水の東西 評論の読み方 文章の要旨をまとめてみよう

7	書くこと イ	8	情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書こう	ワ 定 提	ワ 提	提 発 観	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう
	話すこと・ 聞くこと ウ	4	目的や相手に合った分かりやすい説明をしよう	ワ 定 発	ワ 発	提 発 観	分かりやすい説明をしよう
9	読むこと ア	1 1	複数の文章を読み比べ、自分の考えを深めよう 図表から必要な情報を読み取ろう 【1学期期末考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	異なる種類の文章を読み比べよう グラフや写真の読み取り方
	読むこと ア	2	身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解しよう。	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	スキマが育む都市の緑と生命のつながり
10	話すこと・ 聞くこと オ	3	話し合いの進め方を工夫し、考えを深めよう	ワ 定 発	ワ 発	提 発 観	情報を整理しながら話し合おう
	読むこと イ	2 1	自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取ろう 将来の職業や働き方を考えよう 【2学期中間考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	鍋洗いの日々 働くとは？
11	書くこと ア	7	調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめよう	ワ 定 提	ワ 提	提 発 観	憧れの職業について調べ、整理してまとめよう
	話すこと・ 聞くこと ア	3 1	発想を広げてアイデアを整理し、まとめよう 相手意識を持って言葉を選ぼう	ワ 定 発	ワ 発	提 発 観	発想を広げる方法を使って話し合おう 相手に応じた言葉の選び方
1	書くこと ウ	6 2	記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめよう 問いを作って絞り込み、書くための材料を見つけよう 【2学期期末考査】	ワ 定 提	ワ 提	提 発 観	新聞記事を読んで意見文を書こう グループで問い作りに挑戦

2	読むこと イ	2	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	美しさの発見
	書くこと エ	7	助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げよう	ワ 定 提	ワ 提	提 発 観	読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう
3	読むこと ア	2	人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深めよう	ワ 定 小	ワ 定 発	提 発 観	不思議な拍手
		1	推論の仕方を理解し、日常で使えるようになろう				推論の仕方
	話すこと・ 聞くこと エ	5	発表の仕方や、話の聞き方を工夫しよう 【学年末考査】	ワ 定 発	ワ 発	提 発 観	資料を活用して発表しよう

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 聞くこと	20	B 書くこと	30	C 読むこと	20	70

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	言語文化	2単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「新編 言語文化」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと (近) イ	3	文章の構成や展開、表現の仕方について理解しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	とんかつ 舟を編む
		2	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えよう				
5	読むこと (古) ア	2	古典を読むために必要なきまりを理解しよう 【1学期中間考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	古文に親しもう 児のそら寝 検非違使忠明
		2	古典特有の表現を理解しよう				
	イ 2	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えよう					
6	読むこと (古) オ	2	漢文訓読のきまりを理解しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	訓読のきまり 格言
		2	漢文の口調に慣れよう				
	読むこと (近) イ	3	登場人物の行動や心理の変化を理解しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	羅生門 6月 サーカス
		エ 1 1	詩のリズムの特徴をつかもう 詩の表現技法や工夫に着目し音読しよう				
	書くこと ア イ	2	短歌・俳句の基礎的知識を理解し、印象に残った短歌・俳句の鑑賞文を書いてみよう	ワ 定 小	ワ	ワ 観 提	短歌 俳句
2		【1学期期末考査】					

7	読むこと (古) オ	2	話の概要を理解し作者や「徒然草」について考えよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	徒然草 高名の木登り ある人、弓を 射ることを習 ふに 丹波に出雲と いふ所あり
	ウ	2					
9	読むこと (古) エ	2 2 2 2	訓読の基礎知識を理解するとともに「故事成語」が日本語でどのように用いられているか考えよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	助長 漁夫の利 虎の威を借る 狐、 管鮑の交わり
10	読むこと (近) ウ	2	俳句の特性を小説に取り入れた文章を熟読しよう 作品のあらすじをつかみ登場人物の状況と思いを読み取ろう 【2学期中間考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	側転と三夏 葉桜と魔笛
	ア	3					
11	読むこと (古) イ オ	2 2	歌物語という文章の内容や展開を捉えよう 表現や技法に留意し漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取ろう 【2学期期末考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	伊勢物語 芥川 筒井筒
	読むこと (古) エ	1 1 1 1					
	読むこと (古) エ	1 1					
	読むこと (近) ウ	2					
12	書くこと ア	2 1 1	漢文調の文体を味わいながら登場人物の行動や発言を参考に人物像を考えよう 和歌をそれぞれ自分の言葉で書き換え和歌の紹介文を書いてみよう	ワ 定 小	ワ	ワ 観 提	名人伝 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 和歌を訳す
	読むこと (古) エ	1 1					
1	読むこと (古) エ	1 1	日本の漢詩を鑑賞し、作者の思いを読み取ろう 日本文化と中国文化との関係を知ろう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	富士山 春日偶成

2	読むこと (近) オ	3	時代背景を考え作者の心情を読み取るとともに情景描写が映し出す登場人物の心情を考えよう 【学年末考査】	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	沖縄の手記から
	3	読むこと (古) イ	2	俳諧紀行文を読み、内容や展開を的確に捉え俳諧に表れた作者の心情を読み取ろう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提
	読むこと (古) エ	2	中国の儒教思想について知り日本文化との関連について理解しよう	ワ 定 小	ワ 定 発	ワ 観 提	論語

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 書くこと	10	B 読むこと (古典)	40	B 読むこと (近代)	20	70

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	論理国語	4単位	2年	必修
選択条件				
対象者	2年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 論理国語」 <副教材> 文英堂「書いてマスター常用漢字」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「書くこと」「読むこと」の各領域において、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと ア	6	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返ろう	定 小	ワ	観 提 発	対話とは何か
	読むこと エ	2	書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知ろう	定 小	ワ	観 提 発	論理の力を鍛えよう
	読むこと カ	6	挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	「ふしぎ」ということ
5	読むこと ア	2	慣用句の意味について理解しよう	定 小	ワ	観 提 発	言葉の扉①
	書くこと イ・エ	10	資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味しよう 【1学期中間考査】	ワ	ワ	観 提 発	資料を整理し、テーマを吟味しよう
	読むこと オ	6	文のつながりに注目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	学ぶことと人間の知恵
	読むこと キ	1	文章の読み比べ方を学び、複数の文章を比較して考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	文章を読み比べるために

6	読むこと エ	6	比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深めよう	定	小	ワ	観	提	発	思考の肺活量
	読むこと ア	1	言葉と思考の関係について理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	考える楽しみ ①
	書くこと エ・オ	10	仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめよう	ワ		ワ	観	提	発	仮説を立てて検証しよう
7	読むこと ウ	6	文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深めよう	定	小	ワ	観	提	発	複数の「わたし」
	読むこと キ	1	読書を通じてさまざまな学問の考え方を知り、視野を広げよう 【1学期期末考査】	定	小	ワ	観	提	発	ブックガイド ①
9	読むこと オ	5	楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	楽しく働くこと、楽しく働くこと
	読むこと ア	1	さまざまなカタカナについて理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	言葉の扉②
	読むこと カ	5	タイトルに象徴される筆者の考えを手掛かりにして、自分の生き方について考えよう	定	小	ワ	観	提	発	最初のペンギン
10	読むこと ア	1	現代における真の価値の探究について理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	考える楽しみ ②
	読むこと エ	6	日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直そう	定	小	ワ	観	提	発	カフェの開店準備
	読むこと イ	1	紛らわしい漢字について理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	言葉の扉③
	書くこと ウ・カ	10	文章を読んで問いを持ち、自分の意見を短い論文にまとめよう 【2学期中間考査】	ワ		ワ	観	提	発	短い論文を書いて読み合おう
11	読むこと カ	6	哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意思や自由について理解を深めよう	定	小	ワ	観	提	発	ロボットが隣人になるとき
	読むこと カ	6	本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解しよう	定	小	ワ	観	提	発	科学的「発見」とは
	書くこと ア	10	図表の読み方を理解し、情報を適切に読み取れるようにしよう	ワ		ワ	観	提	発	図表の読み取り方

12	書くこと イ・オ	10	資料を集めて論題を設定し、意見を整理して論述しよう 【2学期期末考査】	ワ	ワ	観 提 発	資料を活用して論述しよう
	1	読むこと ア	2	的確な表現の仕方について理解しよう	定 小	ワ	観 提 発
2	読むこと ウ	6	インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	知識における作者性と構造的性
	読むこと キ	1	読書を通じて現代に対するさまざまな見方を知り、視野をひろげよう	ワ	ワ	観 提 発	ブックガイド②
	読むこと オ	6	二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	ホンモノのおカネの作り方
3	読むこと エ	6	資料を読んで「やさしい日本語」について理解し、実用的な文章の分かりやすさについて考えよう 【学年末考査】	定 小	ワ	観 提 発	やさしい日本語
	読むこと ア	1	困難な時代における読書の役割について理解しよう	ワ	ワ	観 提 発	考える楽しみ③

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 聞くこと		B 書くこと	50	C 読むこと	90	140

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	文学国語	4単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「文学国語」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと カ	4	筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	随筆 「光の窓」
5	読むこと イ	6	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	小説1 「山月記」
	書くこと ア	8	何をどのように書くかということに注意し、表現したいことを明確にして小説を書こう 【1学期中間考査】	ワ	ワ	観 提 発	【言語活動】 「小説を創作する」
6	読むこと カ	4	論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	評論1 「詩と感情生活」
	読むこと ア	4	選んだ本の内容を解釈して、作品の紹介と内容の評価を区別し、書評を書こう	定 小	ワ	観 提 発	【言語活動】 「書評を書く」
	読むこと エ	5	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	小説2 「山椒魚」

7	読むこと イ	2	特徴的なリズムや表現に気づき、それがどのような効果をもたらしているかを読み取ろう	定 小	ワ	観 提 発	詩歌 「竹」
	読むこと ウ	3	短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取ろう	定 小	ワ	観 提 発	「硝子の駒— 短歌抄」
	書くこと エ	6	【1学期期末考査】 共同で詩を創作して意見を交換し、詩に対する自らの価値観を捉え直そう	ワ	ワ	観 提 発	【言語活動】 「共同で詩を 創作する」
9	読むこと エ	8	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	小説3 「こころ」
	読むこと カ	4	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	評論2 「文学の未来」
10	読むこと オ	4	評論や解説を参考にして作品への解釈を深め、作品の内容について論述しよう	定 小	ワ	観 提 発	【言語活動】 「評論や解説を参考 に論述する」
	読むこと エ	4	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	小説4 「鞆」
	書くこと イ	7	構成や展開を工夫して、翻案作品を創作しよう 【2学期中間考査】	ワ	ワ	観 提 発	【言語活動】 「翻案作品を 創作する」
	読むこと カ	4	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発	随筆1 「国語から旅 立って」

11	読むこと カ	4	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	小説1 「コンビニの母」
	書くこと ウ	9	文体の特徴を捉えて小説の人称を書き換え、小説の表現について理解を深めよう	ワ	ワ	観 提 発	【言語活動】 「小説の人称を書き換える」
	読むこと イ	2	象徴的な表現が示している内容を理解し、描かれた情景や心情を読み取ろう	定 小	ワ	観 提 発	詩歌 「夏の姿」
	読むこと ウ	3	俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取ろう	定 小	ワ	観 提 発	「金剛の露一 俳句抄」
	読むこと キ	5	テーマに即した複数の作品を集めてアンソロジーを作り、ものの見方や感じ方を深めよう 【2学期期末考査】	定 小	ワ	観 提 発	【言語活動】 「アンソロジーを作る」
12	読むこと カ	4	人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関わりについて考えよう	定 小	ワ	観 提 発	随筆2 「空っぽの瓶」
	読むこと カ	5	対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	戯曲 「父と暮せば」
	読むこと ウ	3	小説の一場面を脚本に書き換え、小説と脚本それぞれの特徴について理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	【言語活動】 「小説を脚本に書き換える」
1	読むこと カ	1 1	構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考えよう	定 小	ワ	観 提 発	小説2 「舞姫」
	2	読むこと カ	4	筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深めよう	定 小	ワ	観 提 発
		読むこと ウ	6	映画と原作を比較し、それぞれの作品の特質を捉え、作品への理解を深めよう	定 小	ワ	観 提 発

3	読むこと ア	4	視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考えよう 【学年末考査】	定 小	ワ	観 提 発	小説3 「蠅」
	読むこと キ	7	作品が成立した背景やほかの作品との関係を調べて発表し、作品の解釈を深めよう	定 小	ワ	観 提 発	【言語活動】 「さまざまな資料を調べて発表する」

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 聞くこと	0	B 書くこと	30	C 読むこと	110	140

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	国語表現	4単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 ビジネス系列、生活・福祉系列			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなしましょう。			
教材 実習費等	<教材> 国語表現 (東京書籍)			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	話すこと・ 聞くこと ア・ウ	10	自分の表現を工夫しよう。 文章を読んで考えたことを話し合おう。	ワ	ワ	観	表現とは何か
5	書くこと イ・オ	15	相手・内容・目的・状況を明確にしよう。 情報の取捨選択・伝える順序を考えよう。 【1学期中間考査】	定	定	発	分かりやすく説明しよう
6	話すこと・ 聞くこと エ・カ	10	楽しみながらいろいろな表現に挑戦してみよう。 【1学期期末考査】	ワ	ワ	観	身体で表現しよう
7	書くこと ウ・エ	15	さまざまな「問い」「質問」を体験し、コミュニケーションの基礎となる問う力、質問する力を身につけよう。	小		提	「問い」を考えよう
9	話すこと・ 聞くこと イ・オ	10	相手に対して、限られた時間で、自分の魅力をしっかりと伝えることができるよう、準備を進めよう。	ワ	ワ	観	「自分」を表現しよう
10	書くこと ア・エ 話すこと 聞くこと エ・キ	15 10	論理的なものの見方・考え方とそれを表現する力を身につけよう。 【2学期中間考査】	定	定	発	論理的な文章を書こう
11	話すこと・ 聞くこと カ・キ	5	実りある話し合いができるように、ファシリテーションの技法を学んでいこう。			提	話し合う力をつけよう

12	書くこと イ・オ	15	相手意識、目的意識を持って、 情報を活用・編集する力を身に つけよう。 【2学期期末考査】	ワ 定 小	ワ 定	観 発 提	情報活用力を 身につけよう
	書くこと イ・エ	15	学習を通して、相手を動かす、 説得力のある表現を身につけ よう。(プレゼンテーション)				説得力のある 表現をしよう
1	書くこと ア・カ	15	見たことや感じたこと、考えた ことを言葉を用い、表現技法を 取り入れながら、書き表そう。	ワ 定	ワ 定	観 発	表現を楽しも う
2	話すこと・ 聞くこと イ・エ	5	社会で活躍する先輩の話聞き、 自分の思いや考えを広げたり 深めたりしよう。 【学年末考査】	小		提	心をつかむ表 現
3							

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 聞くこと	50	B 書くこと	90			140

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	古典探究	2/4単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生、進学系列人文コース（3年生での古典探究2単位（計4単位）が継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなし、提出物は忘れずに提出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 古典探究」 <副教材> 尚文出版「学ぶぞ古文と漢文」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を踏めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をを深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと ア・イ	6	古典の世界に親しもう	ワ	ワ	観	説話 宇治拾遺物語 故事・小話 戦国策・世説 新語
5	読むこと ア・イ	7	古典特有の表現に注意し、内容を的確に捉えよう 【1学期中間考査】	定 小	定	発 提	
6	読むこと ウ・カ	7	文章の種類を踏まえて構成や展開を捉えよう	ワ	ワ	観	随筆 徒然草・方丈記 唐詩と文 唐詩八首・文二編
7	読むこと エ・カ	7	作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえて読もう 【1学期期末考査】	定 小	定	発 提	
9	読むこと ア・イ	7	文章の表現に注意して内容を理解しよう	ワ	ワ	観	物語・和歌 竹取物語・百人一首 史記 項羽と劉邦
10	読むこと ア・イ	6	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えよう 【2学期中間考査】	定 小	定	発 提	
11	読むこと エ・オ	6	古典特有の表現に注意して本文を読もう	ワ	ワ	観	日記 土佐日記・更科日記 中国の知恵 寓話
12	読むこと ウ・カ	6	文章の種類を踏まえて構成や展開などを的確に捉えよう 【2学期期末考査】	定 小	定	発 提	

1	読むこと ア・イ	6	文章の内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広めよう	ワ	ワ	観	物語 平家物語
2	読むこと エ・キ	6	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて読もう	定	定	発	三国志 十八史略
3	読むこと エ・カ	6	作品の成立した背景や時代を踏まえながら文章を読もう 【学年末考査】	小		提	近世文学の世界 世間胸算用 おらが春

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 聞くこと		B 書くこと		C 読むこと	70	70

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
国語	古典探究	2/4単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生、進学系列人文コース（2年生での古典探究2単位（計4単位）が継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	授業には積極的に参加し、プリントなどの課題は確実にこなし、提出物は忘れずに提出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 古典探究」 <副教材> 尚文出版「学ぶぞ古文と漢文」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を踏めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をを深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。

月	領域	時数	単元	評価方法			教材・資料等
				知・技	思・判・表	主体的	
4	読むこと ア・イ	6	古典の世界に親しもう	ワ	ワ	観	随筆 枕草子 小話を読む 十八史略
	読むこと ア・イ	7	古典特有の表現に注意し、内容を的確に捉えよう 【1学期中間考査】	定 小	定	発 提	
6	読むこと ウ・カ	7	文章の種類を踏まえて構成や展開を捉えよう	ワ	ワ	観	歌物語 伊勢物語 大和物語 古詩を味わう 詩経・陶潜・李白・白居易
	読むこと エ・カ	7	作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえて読もう 【1学期期末考査】	定 小	定	発 提	
9	読むこと イ・ウ	7	文章の表現に注意して内容を理解しよう	ワ	ワ	観	歴史物語 大鏡 史記を味わう 廉頗と藺相如
	読むこと オ・ク	6	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えよう 【2学期中間考査】	定 小	定	発 提	
11	読むこと エ・オ	6	古典特有の表現に注意して本文を読もう	ワ	ワ	観	歌話・歌論を読む 袋草紙・無名抄 中国の思想家と道家
	読むこと オ・キ	6	文章の種類を踏まえて構成や展開などを的確に捉えよう 【2学期期末考査】	定 小	定	発 提	

1	読むこと エ・カ	6	文章の内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広めよう	ワ	ワ	観	作り物語を味わう
2	読むこと ウ・カ	6	文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて読もう	定	定	発	源氏物語 俳諧に親しむ
3	読むこと カ・ク	6	作品の成立した背景や時代を踏まえながら文章を読もう 【学年末考査】	小		提	近世俳句抄

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

配当時間

領域	時数	領域	時数	領域	時数	総時数
A 話すこと 書くこと		B 書くこと		C 読むこと	70	70